

## 「みなとオアシス下関」登録証交付式が行われました！

山口県下関市にある国際拠点港湾「下関港」。近年、クルーズ船寄港回数の増加が著しく、明るい話題の多い同港において、平成29年9月17日、「みなとオアシス下関」が全国で記念すべき100箇所目となる「みなとオアシス」に登録されました。

「みなとオアシス下関」の代表施設である「カモンワーフ」は、市民や観光客が多く集まる唐戸地区の情報発信・商業拠点として多様な役割を担い、併せて「あるかぼーと岸壁」「唐戸市場」「海響館」「はい！からっと横丁」「姉妹都市ひろば」等の施設や、唐戸地区から航路で繋がる「巖流島」が登録されました。

「みなとオアシス下関」の登録証の交付式は、9月30日、代表施設である「カモンワーフ」のウッドステージで行われ、設置者の前田下関市長や運営者の「しものせき観光キャンペーン実行委員会」福田副会長、下関市議会戸澤議長はじめとする多数のご来賓の出席のもと、開会前には下関市を代表する伝統芸能平家太鼓・平家踊りも披露され、会場は多くの観光客とともに大いに盛り上がりました。

前田市長は、「海沿いの風光明媚な景観と全国的に有名な海の幸とともに、世界に誇れる下関を発信したい」と挨拶されました。

来年は「明治維新150周年」にあたる年です。下関港は明治維新の直前の1864年に事実上開港され、以来、国際貿易港として発展してきました。明治維新発祥の地である下関は、この度の「みなとオアシス」の登録をきっかけに、さらに地域と「みなと」の連携による交流や観光の振興を通じた地域の活性化を促進していきたい、とのことです。



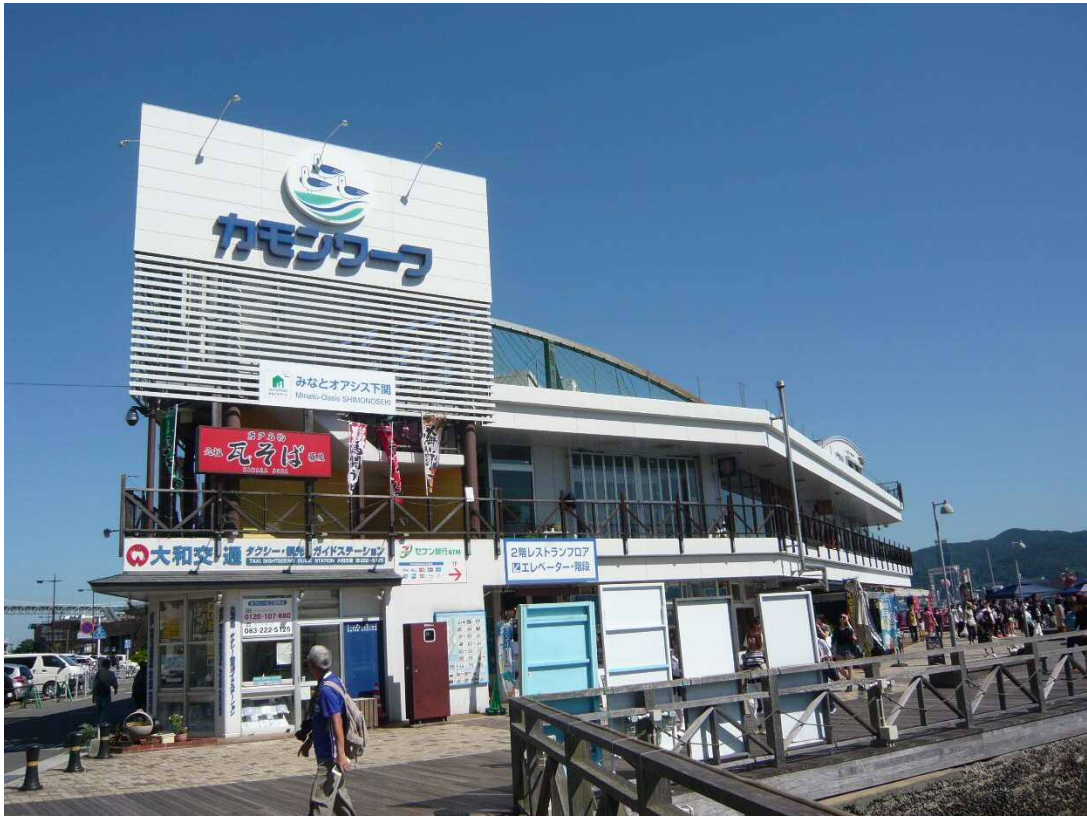
登録証交付 国土交通省九州地方整備局から下関市長へ



披露された下関の伝統芸能「平家太鼓・平家踊り」



登録証交付式 集合写真



代表施設「カモンワーク」



しものせき海峡まつり（姉妹都市ひろば）